

農地の保全と人づくり

ソバ栽培が育む

できることから一歩ずつ



— 地域保全・地域活性化部門 —

京都府農業会議会長賞

み
三

また
俣

集

落

協

定

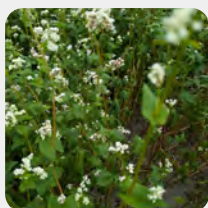
福知山市



平成12年から中山間地域等直接支払制度に取り組み、自らの手でソバ栽培や鳥獣駆除を始めることで、耕作放棄地の発生や担い手不足といった課題に対応し、自力で集落を守っています。ソバ栽培を始めるにあたり、販路の確保や安定した収量を目指して栽培技術の習得にも努めました。現在は、得た技術を地域内外に発信しながら後継者の育成にも力を入れており、2人だった担い手は令和8年度には4人になる予定です。

無農薬のソバ栽培

環境への配慮のため、無農薬で栽培し、地域外へも栽培技術を発信しています。



定期的な法面補修

農地のり面の崩壊を未然に防止するため、構成員を中心に定期的な点検を行っています。



耕作放棄地の防止

営農者の継続の意思を常に把握して、積極的に担い手への集積を働きかけるなど、耕作放棄地を出さないよう努力しています。

